

# 平成 21 年度宮前区区民会議企画部会(第 5 回)

平成 22 年 2 月 3 日(水) 18 時～20 時

宮前区役所 第 1 会議室

## 次 第

### 1 開 会

### 2 議 事

(1) 第 4 回宮前区区民会議の議事について

(2) 第 2 期区民会議の総括について

ア 報告書の構成と内容

イ 第 3 期に向けた今後の課題

(3) 区民会議フォーラムについて

### 3 その他

#### 《配布資料》

資料 1 平成 21 年度第 4 回宮前区区民会議次第(案)

資料 2 第 1 期宮前区区民会議 総括報告書(原案)

資料 3 区民会議フォーラムの開催について(案)

参 考 第 1 期宮前区区民会議総括に向けた委員意見調査表

# 平成 21 年度第 4 回宮前区区民会議 次第(案)

平成 22 年 2 月 15 日(月) 18 時 00 分～20 時 00 分  
宮前区役所 4 階 大会議室

## 次 第

### 1 開 会

### 2 議 事

#### (1) 第 2 期区民会議の総括について

ア 報告書（素案）の構成と内容

イ 第 3 期に向けた今後の課題

#### (2) 区民会議フォーラムについて

### 3 報 告

#### (1) 平成 22 年度宮前区協働推進事業計画（案）及び区の課題解決に向けた取組（案）について

### 4 その他

#### 《配布資料》

資料 1 第 2 期宮前区区民会議 総括報告書（素案）

資料 2 区民会議フォーラムの開催について（案）

資料 3 平成 22 年度宮前区協働推進事業計画（案）及び宮前区・区の課題解決に向けた取組（案）

# 第2期宮前区区民会議

(平成20年5月～平成22年3月)

## 総括報告書(原案)



平成22年3月

宮前区区民会議  
宮前区役所

委員長あいさつ

区長あいさつ

# 目 次

## 第1章：第2期の成果 ～みんなで取り組むコミュニティ豊かなまちへ～

1. 地域コミュニティの活性化に向けた提案をまとめました
2. 区民みんなで取り組むコミュニティづくりに向けて
3. 区民に向けた情報発信

## 第2章：第2期の提案とこれから

## 第3章：第2期のポイント

## 第4章：これまでの活動

1. 全体会と企画部会の開催経過
2. 専門部会の開催経過と審議状況
  - 1) 公園・地域づくり部会
  - 2) 宮前区の宝さがし～ときめき再発見～部会

## 第5章：提案の詳細

1. 公園を活用した地域コミュニティの活性化に関する提案
2. 地域資源を活用した地域コミュニティの活性化に関する提案

## 第6章：第1期提案への取組

1. 第1期宮前区区民会議からの提案一覧
2. 提案内容と提案に対する取組状況
  - 2- (1) 高齢者福祉 (8提案)
  - 2- (2) 子育て支援 (9提案)
  - 2- (3) 地域コミュニティ (3提案)
  - 2- (4) 地域防災 (3提案)

## 第7章：第3期以降に向けて

1. 地域課題の把握方法
2. 審議対象課題の優先順位付け、分野、規模、課題の数など
3. 区民会議（全体会）の会議運営
4. 専門部会の会議運営
5. 区民会議から提案された課題解決策の取組と進行管理

## 資料編

# 第1章：第2期の成果 ～みんなで取り組むコミュニティ豊かなまちへ～

第2期(平成20年4月～平成22年3月)

## 第2期宮前区区民会議提案



5つの提案をまとめた報告書を区長に提出

提案の趣旨・目的、現状等は 第2章 ○○Pへ

## 2. 区民みんなで取り組むコミュニティづくりに向けて

### ■実現性と区民みんなが関わるプロセスを重視

第2期宮前区区民会議では、提案の実現性と、多様な世代や性別・趣向・背景などを持つ区民みんなが一緒になって関わることでできる取組のプロセスを重視しました。そしてこのプロセスこそがコミュニティづくりの核だと考えました。

提案に際しては任期である2年間でじっくりかけ、事例調査や関係活動団体へのヒアリング調査なども行いながら検討を進めてきました。

### ■年度末には参加型のフォーラムを開催

各年度末には参加型の区民会議フォーラムを開催しました。区民会議からの検討経過の発表だけでなく、地域の活動事例の発表や、ご参加いただいた区民の方々と共に審議テーマや提案の内容について意見を出し合うワークショップを実施しました。



平成20年度区民会議フォーラム

### ■より具体的な取組

こうして出来上がった今期の5つの提案は、提案後の取組実施の段階における体制や内容について、より具体的なものとなりました。

平成22年度からは、提案者である区民会議委員OBや提案検討の際に関わっていただいた関係団体、その他区内の関係市民活動団体を中心に、取組実施のための組織を立ち上げ、より多くの区民の参加を得ながら進めていきます。

これからの取組の詳細は 第2章 OOPへ

## 3. 区民に向けた情報発信

### ■区民会議だより

区民会議の検討の内容や結果・活動の成果をより多くの人に知ってもらうため、第1期から「みやまえ区民会議だより」を発行しています。区民会議全体会が開催されるごとに8,000部を発行し、町内会・自治会を通じて回覧しているほか、公共施設等で配布しています。(第2期では2年間で第6号～第13号を発行)

### ■出張・区民会議

より多くの区民に区民会議を身近に感じてもらうことを目指し、区役所以外の会場でも会議を開催しました。

平成20年度は第3回会議を向丘出張所で、平成21年度は第2回会議を開館したばかりのアリーノ(有馬・野川生涯学習支援施設)で開催し、それぞれの地域の区民に参加を呼びかけました。




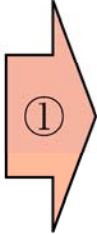

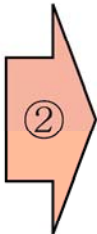



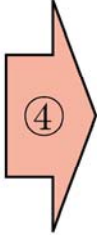
アリーノ(有馬・野川生涯学習支援施設)でも開催

## 第2章：第2期宮前区区民会議の提案とこれからの取組

提案	趣旨・目的	現状等
----	-------	-----


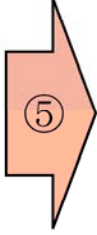
### ■公園・地域づくり部会から生まれた提案

公園を地域コミュニティの場として活用していこう！

<p><b>提案①</b> 公園を知って もらおう！ ～公園内に掲示板などを設置～</p>	<p>公園内での様々な活動やイベントを広く知ってもらうことで、より多くの区民の参加、地域コミュニティの活性化を目指します。</p>	 <p>公園・緑地管理運営協議会、公園体操、自主保育など多様な活動が公園で展開されています。</p>	
<p><b>提案②</b> 「冒険あそび場」 をひろめよう！</p>	<p>公園を活用した「冒険あそび場」（宮前区版プレイパーク）を地域主体で実施することで、次世代育成の場を確保します。</p>	 <p>プレイパークとは、見守り役のプレイリーダー（大人）の元で、子どもが自己の責任の元、自由な発想で遊ぶ場です。</p>	
<p><b>提案③</b> もっと公園を 楽しもう！ ～宮前区公園月間の設定～</p>	<p>地域の住民にもっと公園に目を向けてもらうため、広報・呼びかけを展開します。</p>	 <p>公園は誰もが使えるオープンスペースですが、中には利用が少なかったり、利用マナーが問題となっている公園もあります。</p>	
<p><b>提案④</b> 公園・緑地管理 運営協議会を サポートしよう！</p>	<p>公園・緑地管理運営協議会の活性化のための支援を行い、地域コミュニティの担い手としての認識、力を育みます。</p>	<p>区内62箇所で開催されている公園・緑地管理運営協議会には、管理運営だけでなく、コミュニティの担い手としての役割が期待されています。</p> 	

### ■宮前区の宝探し～ときめき再発見～部会から生まれた提案

地域みんなで共有できる宝物（顔）を通じて、地域への誇りや愛着を育もう！

<p><b>提案⑤</b> 宮前区のカルタ をつくろう！</p>	<p>カルタの作成を通じて、幅広い世代が「地域資源」を発見、共有します。地域への愛着の涵養、コミュニティの活性化を図ります。</p>	 <p>宮前区第1地区社会福祉協議会が地域住民から読み唄を募集して作成した「野川ふるさとカルタ」がモデルケースです。</p>	
--	--	---	---



## 実施内容（これからの取組）



## みんなで取り組む コミュニティづくり

①

### 活動内容をPRする掲示板の設置

管理運営協議会と行政との管理協定締結による設置

### 活動内容をPRするプレートの設置

活動団体と協議し、周辺環境と調和したプレート設置

②

### 宮前区冒険あそび場支援検討委員会

ルールや行政支援等の検討、モデル事例の実施推進

### 「出張・冒険あそび場」の実施

既存活動団体による体験機会の提供

③

### 4月と11月を”公園月間”に

桜や落葉の季節にイベント開催を呼びかけ

### 「みやまえ公園イベント情報」の発行

毎月発行し、町内会・自治会を通じて回覧

### 「みやまえぼーたろう」での情報発信

地域ポータルサイトからの情報発信

④

### 公園・緑地管理運営協議会の趣旨・役割等の揭示

趣旨をわかりやすく揭示することによる役割の周知

### 代表者会議や研修の場での啓蒙

コミュニティ担い手としての期待を発信

⑤

### みやまえカルタ制作実行委員会の設立

基本方針の策定、制作状況の進行管理・内容調整

### 各小学校の参加

総合的な学習の時間を活用した作成への参加働きかけ

### 地区別部会の設定、地区別カルタの作成

中学校区ごとに作成、フォーラムや大会の開催

### 区政30周年記念カルタの作成・記念大会の開催

地区版から全区版の選抜、大カルタ大会の開催

## 理想とする公園像

地域ニーズや  
実情に合わせて  
整備・配置された  
公園施設や遊具

地域の多様な世代が  
無理なく主体的に  
関わる運営

利用者による  
ルールづくり

地域の誰もが良い  
利用マナーのもとで集い、  
交流する場の形成

## 各項目の詳細は 第5章 OOPへ

## 宝や顔がある まちのイメージ

自分たちの住む  
まちについて、  
区外の人に紹介する  
ことができる

地域に愛着を持っている

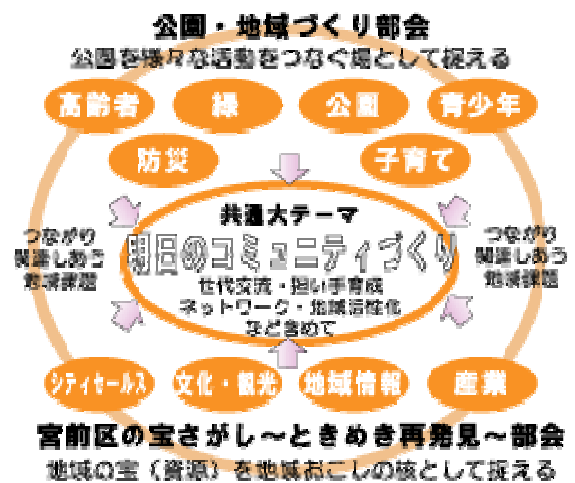
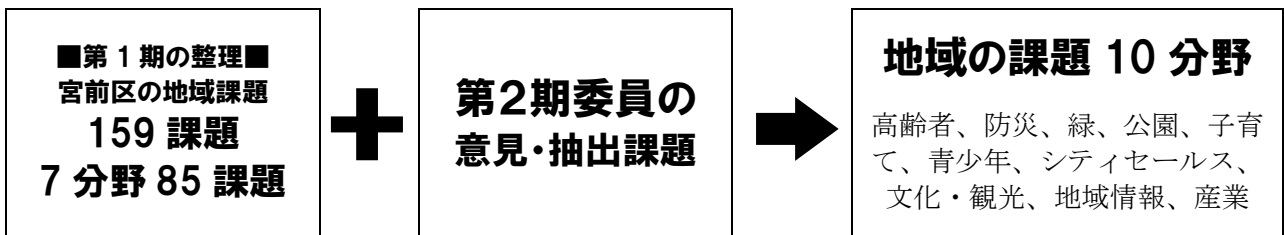
地域を大切に思い  
近隣との良好なコミュニ  
ケーションが図れている

# 第3章：第2期のポイント

## STEP1 地域課題の把握・整理 10分野の抽出

第1期で地域の活動や区役所の日常業務を通じて把握された宮前区の地域課題 159 課題とその分類・整理結果（7分野 85 課題）を引き継ぎ、第1期の提案やその取組経過なども踏まえ、第2期委員の新たな意見も取り入れながら、地域課題の分類整理を行いました。

その結果、「高齢者」「防災」「緑」「公園」「子育て」「青少年」「シティセールス」「文化・観光」「地域情報」「産業」の10分野が抽出されました。



図：第2期宮前区区民会議 審議テーマイメージ

## STEP4 現状調査や先進事例調査の実施

第2期では、任期である2年間をかけて、それぞれのテーマに関する審議を専門部会を中心にじっくりと進めました。テーマに関連した活動関係者を部会に招いたほか、現場視察による事例調査、アンケートなどによる現況調査を積極的に実施し、より実現性が高く、地域での担い手の確保、取組の実施につながる提案づくりを心がけました。

### 公園・地域づくり部会

#### ●事例調査

- ・ 鷲ヶ峰公園緑地運営管理協議会
- ・ つくし野公園あそび応援隊（町田市）
- ・ 宮前区こどもの遊び場を考える会 ポレポレ
- ・ 横浜市のプレイパークの運営制度  
（有志による現地視察）

#### ●現状調査

- ・ 区内の公園の現況調査（部会委員が近所の公園を自ら調査）
- ・ 公園でやってみたいこと、欲しい機能等のアンケート調査（イベント参加者や関係活動団体）



写真：地域活動の事例報告を受ける様子

### 宮前区の宝さがし～ときめき再発見～部会

#### ●事例調査

- ・ 野川ふるさとカルタ（宮前第1地区社会福祉協議会作成）
- ・ 上毛カルタ（群馬県文化協会作成）

#### ●現状調査

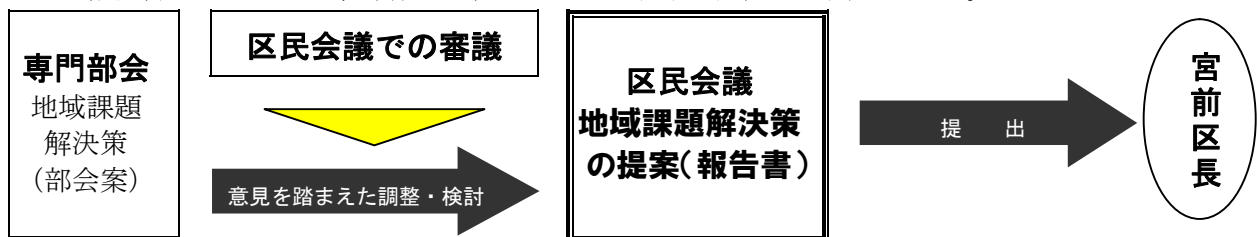
- ・ 地域資源情報の募集（募集チラシ、地域ポータルサイト「みやまえぼーたろう」による試験実施）



写真：野川ふるさとカルタのマップ

## STEP5 地域課題解決策の提案のまとめと提出

専門部会で検討された地域課題解決策（案）について、区民会議で審議した後、地域課題解決策の提案として報告書の形にまとめ、平成21年12月14日（月）に区長に提出しました。



## STEP6 取組実施に向けた動き

平成22年度からの取組実施に向け、協働推進事業による一部事業化の準備が既に進められています。第2期で任期を終え、区民会議OBとなる委員や関係団体に呼びかけ推進組織の核とするとともに、実際の取組実施の際には、地域に広く声をかけ区民みんなが参加する、地域一体となった取組を進めていく構想です。

## 第4章：これまでの活動

第2回	平成20年9月5日(金)
第3回	平成20年11月7日(金)
第4回	平成21年1月27日(火)
第5回	平成21年3月23日(月)

	平成21年5月12日(火)
第2回	平成21年7月21日(火)
第3回	平成21年11月5日(木)
第4回	平成21年12月3日(火)
第5回	平成22年2月3日(水)
第6回	平成22年3月 日( )

### 【主な検討内容】

#### ■ 区民会議運営の企画・進行

- ・ 区民会議に先立つ議事や資料の検討、専門部会の進行管理、区民会議フォーラムの企画 など

#### ■ 第2期区民会議の審議状況の取りまとめ

- ・ 審議内容の総括、提案書や報告書の素案づくり など



## 2. 専門部会の開催経過と審議状況

### 1) 公園・地域づくり部会

#### ■審議テーマの設定・目指すべき方向性

宮前区内の公園を、「高齢者」「緑」「防災」「青少年」「子育て」などの様々な地域の課題を解決する場として捉え、「世代交流」や「居場所づくり」など、地域住民が集う地域コミュニティの拠点として活用していく取組を審議しました。



#### ■開催経過と議題

合計 13 回の部会を開催しました。

平成 20 年度 第 1 回	平成 20 年 6 月 16 日 (月)	15:00~17:00	出席委員 9 名
部会の審議テーマ意見交換、公園管理の現状説明 (行政担当者より)、部会名称			

平成 20 年度 第 2 回	平成 20 年 7 月 7 日 (月)	15:00~17:00	出席委員 7 名
公園の現状と課題 (各委員からの報告を受けて)			

平成 20 年度 第 3 回	平成 20 年 9 月 12 日 (金)	15:00~17:00	出席委員 8 名
公園・地域の現状、理想とする公園像、維持管理のあり方			

平成 20 年度 第 4 回	平成 20 年 10 月 10 日 (金)	18:00~20:00	出席委員 6 名
公園での活動取組事例 (先進事例ヒアリング)			

平成 20 年度 第 5 回	平成 20 年 10 月 27 日 (月)	18:00~20:00	出席委員 7 名
理想とする公園像、解決すべき課題			

平成 20 年度 第 6 回	平成 20 年 12 月 9 日 (火)	18:00~20:00	出席委員 7 名
具体的な課題解決策 (維持管理・運営・魅力 P R など)			

平成 20 年度 第 7 回	平成 21 年 1 月 20 日 (火)	18:00~20:00	出席委員 9 名
コミュニティのきっかけづくり、区民会議フォーラムの進め方			

平成 20 年度 第 8 回	平成 21 年 3 月 5 日 (木)	18:00~20:00	出席委員 6 名
公園の魅力 P R 方法、区民会議フォーラムの進め方			

平成 21 年度 第 1 回	平成 21 年 4 月 22 日 (水)	18:15~20:15	出席委員 6 名
掲示板の設置、公園に目を向けてもらうためのイベント			

平成 21 年度 第 2 回	平成 21 年 6 月 23 日 (火)	18:15~20:20	出席委員 8 名
プレイパークの必要性、進め方、宮前区版プレイパークの提案			

平成 21 年度 第 3 回	平成 21 年 7 月 28 日 (火)	18:15~20:20	出席委員 7 名
宮前区公園遊びの日の設定、宮前区版プレイパークの推進、維持管理の担い手・組織			

平成 21 年度 第 4 回	平成 21 年 9 月 3 日 (木)	18:15~20:25	出席委員 6 名
宮前区版冒険あそび場、宮前区公園の日			

平成 21 年度 第 5 回	平成 21 年 10 月 13 日 (火)	18:15~20:20	出席委員 8 名
提案のまとめ			

## 2) 宮前区の宝さがし～ときめき再発見～部会

### ■審議テーマの設定・目指すべき方向性

宮前区の「宝」や「顔」となりうる地域の資源を地域おこしの核として捉え、「シティセールス」「文化・観光」「地域情報」「産業」などの課題を包含する「宮前区らしさ」として、地域で発見・共有・発信していくことで、地域コミュニティを醸成していく取組を審議しています。



### ■開催経過

合計 12 回の部会を開催しました。

平成 20 年度 第 1 回	平成 20 年 6 月 23 日 (月)	18:00~19:50	出席委員 8 名
部会の審議テーマ意見交換、部会名称の決定			

平成 20 年度 第 2 回	平成 20 年 7 月 15 日 (火)	18:00~19:50	出席委員 7 名
宮前区の宝を探す目的、宮前区のイメージ、宮前区の現状の資源			

平成 20 年度 第 3 回	平成 20 年 9 月 22 日 (月)	18:00~19:50	出席委員 9 名
宝や顔があるまちのイメージ など			

平成 20 年度 第 4 回	平成 20 年 10 月 24 日 (金)	18:00~19:50	出席委員 9 名
資源の整理・大分類、楽しみ方の分類、資源・宝・顔のイメージ図、区民への投げかけなど			

平成 20 年度 第 5 回	平成 20 年 12 月 16 日 (火)	18:00~20:00	出席委員 7 名
資源の整理・大分類、区民への資源募集の呼びかけ方法 など			

平成 20 年度 第 6 回	平成 21 年 1 月 24 日 (金)	18:00~19:50	出席委員 9 名
区民からの資源募集のモデル実施について、区民会議フォーラムの進め方 など			

平成 20 年度 第 7 回	平成 21 年 3 月 3 日 (火)	18:00~20:15	出席委員 7 名
区民会議フォーラムの進め方、今後の進め方など			

平成 21 年度 第 1 回	平成 21 年 4 月 13 日 (月)	18:00~20:10	出席委員 7 名
今後の進め方、テーママップの作成、【事例】野川カルタ・映像コンクール			

平成 21 年度 第 2 回	平成 21 年 6 月 15 日 (月)	18:00~20:10	出席委員 7 名
マップづくりの手法や形式、カルタづくりの手法や形式、【事例】上毛カルタ			

平成 21 年度 第 3 回	平成 21 年 7 月 9 日 (木)	18:00~20:10	出席委員 7 名
区政 30 周年に向けたカルタ制作、教育現場での活用			

平成 21 年度 第 4 回	平成 21 年 9 月 7 日 (月)	18:00~20:00	出席委員 9 名
カルタづくりの手法や形式、総合的な学習の時間の活用			

平成 21 年度 第 5 回	平成 21 年 10 月 16 日 (火)	18:00~19:15	出席委員 7 名
提案のまとめ			

## 第5章：提案の詳細

### 1. 公園を活用した地域コミュニティの活性化に関する提案

#### 1) 宮前区の公園の現状と取組

##### (1) 公園の有する機能

宮前区の公園に限ったことではありませんが、一般的に公園は、誰もが気軽に利用できる緑豊かなオープンスペースであり、レクリエーション・憩いの場といった機能に加え、防災拠点にもなるなど多様な機能を有しています。例えば、第1期の提案にあった公園体操などは、当初8箇所だったのが現在は30箇所以上に増え、高齢者の健康づくりと地域コミュニティの活性化に大きく寄与しています。

このように、公園は住民が集い交流することのできる地域コミュニティの拠点となりうる可能性を持っていると考えられます。

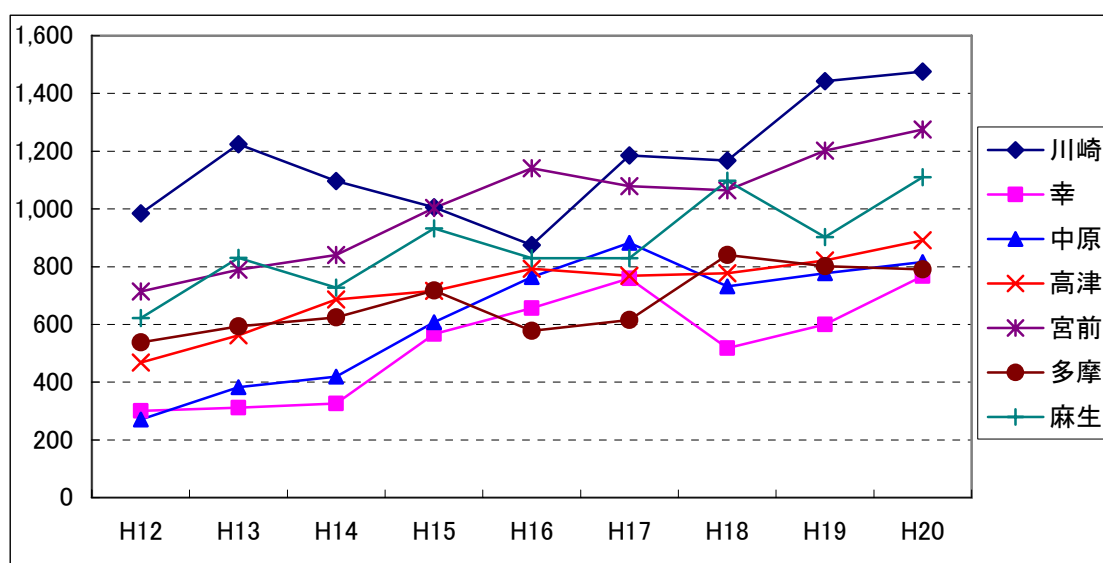
##### (2) 公園(都市公園・市営公園)の整備状況

平成21年3月現在の宮前区の公園の整備状況は次のとおりとなっています。川崎市全体では麻生区に次いで2番目に公園の多い区となっています。

区分	街区公園	近隣公園	その他	合計
公園数	176	6	14	196

##### (3) 増加する苦情

主に、増加する公園に見合う維持管理経費が十分に確保されなかったことなどが原因で、樹木の剪定や遊具やトイレ等の公園施設の故障などに関して、公園事務所に寄せられる苦情が増える傾向にあります。



このほか、ごみの不法投棄やペットの扱いのほか、青少年の夜のたまり場になってしまっている公園もあるなど、マナーや倫理上の問題もあり、せっかくの公園が迷惑施設になってしまっ

ている側面もあります。

#### (4) 地域が主体となった管理運営

川崎市緑の基本計画(平成 20 年 3 月改定)では、「協働により緑を守り育む持続可能な仕組みの構築」を基本方針の 1 つとして掲げています。

地域住民の身近な公園については、地域が主体となって管理・運営することが基本的な考え方とされ、それを具体化するものとして、公園・緑地管理運営協議会の制度が緑の基本計画の改定に先立ち、平成 17 年度からスタートしています。

この公園・緑地管理運営協議会は、身近な公園を地域のコミュニティ拠点としていくことを大きな目的として、これまでの愛護会が担っていた除草・清掃の役割に加え、中低木の剪定など、より高度な維持管理を地域で担うほか、公園の利用方法などの運営面においても、その調整機能を地域が担うことができるようになりました。

平成 21 年 10 月現在、宮前区では 62 箇所公園・緑地管理運営協議会が設立されています。

## 2) 解決すべき課題など

### (1) 理想とする公園像について

現在置かれている公園の状況と理想とする公園像とのギャップを明らかにし、課題解決によって目指す方向性をより明確にするため、理想とする公園像について意見交換し、イメージの共有を図りました。

#### ■ 望ましい施設…トイレ、ベンチ、看板など、地域のニーズや実情に合わせて

- ・ 公園に必要な施設として、トイレ・ベンチ・看板・時計・遊具など、公園の立地、利用者の構成やニーズ、地域の実情に合わせた施設が配置されている。
- ・ どのような施設が必要かを自分たちで検討できるしくみができている。

#### ■ 維持管理・運営のあり方

- ・ 多様な世代が無理なく主体的に
  - 子どもから高齢者まで、地域の多様な世代が無理なく主体的に関われるしくみがある。
- ・ 利用者が維持管理・ルールづくり
  - 利用者自らが、維持管理の方法や利用上のルールづくり、企画運営に関われるしくみがある。

#### ■ 公園の使い方(コミュニティ面)

- ・ 多世代が利用し顔見知りの関係に
  - 子どもから高齢者まで、地域の多様な世代に利用され、公園での出会いを通して地域内でお互いが顔見知りの関係を築いている。
- ・ 地域のイベント会場として
  - お祭りや盆踊りを始め、地域の様々なイベント会場として公園が利用されることで、自然に地域住民が集まり交流する場となっている。



(2) 解決すべき課題について

理想とする公園像と現状とのギャップを踏まえ、部会では、解決すべき課題を次のとおりとしました。

■ **課題①：維持管理について**

- ・ 担い手の不足・固定化・高齢化

公園の維持管理活動に関わる人が少なく、また、現在関わっている人材も固定化、高齢化している現状があり、より多くの人に関わるしかけが必要である。!

## 【実施方法/実施主体】

### ■ 活動内容をPRする掲示板的設置

- ・ 日ごろの活動内容を恒常的に発信できるような掲示板的を団体からの申請に応じて、宮前区役所が公園管理者の許可を受けた上で設置します。
- ・ 宮前区役所と団体とで管理協定を締結します。
- ・ 設置の申請ができる団体は、公園で地域コミュニティに資する活動を継続的に行っているとともに、地域の利害関係の調整や掲示板的の管理・運営に責任を持ってあたれる団体が望ましいため、公園・緑地管理運営協議会に限定します。

### ■ 活動内容をPRするプレートの設置

- ・ 公園・緑地管理運営協議会以外で、公園体操や自主保育など地域コミュニティの活性化に資する個別の活動を行なっている団体に対しては、掲示板的ではなく活動内容を記した見た目にも楽しいプラスチックのプレートなどを制作し、公園事務所の許可を受けた上でフェンス等に掲示できるようにします。
  - ※ 掲示板的やプレートを設置する際には、景観・美観を損ねることのないよう、周辺環境との調和に配慮することとします。
  - ※ 提案②の「冒険あそび場」の実施団体については、その支援のメニューとして「掲示板的の設置」を用意します。

## 【実施時期】

- ・ 実施時期については、平成 22 年度からの実施が望ましいものとします。

## 提案②： 「冒険あそび場」をひろめよう！

## 【趣旨・目的】

- ・ 現代の子どもには、その成長にとって必要な**時間・空間・仲間**の「サンマ(3つの間)」がないといわれています。
- ・ そこで、公園というオープンスペースを活用し、地域が主体となって「冒険あそび場」を実施することで、次世代育成の場の確保を目指します。
- ・ また、「冒険あそび場」への地域住民の参加を促進し、本部会の趣旨である地域コミュニティの活性化も目指します。

## 《 冒険あそび場とは？ 》

部会では、従来のプレイパークの概念にとらわれず、宮前区らしいプレイパークを目指すことを企図して「冒険あそび場」という言葉を用いることとしました。

プレイパークと呼ばれる活動は、一般的には次のような内容となっていますが、地域の特性や実情に応じた活動内容としていく必要があります。

### 【概要】

#### ■冒険遊び場（プレイパーク）

「プレイリーダー」と呼ばれる見守り役の大人のもと、子どもたちが自由な発想で遊びを創り出し、やりたいことを実現する場です。

#### ■自分の責任で自由に遊ぶ

小さな怪我などのリスクを自分で負担することを前提とします。

火を使う遊び・泥遊び・工具を使った遊具や秘密基地づくりなど

### 【効果】

#### ■地域コミュニティの活性化

活動に地域の大人が関わることで、地域コミュニティの活性化につながります。

### 【宮前区冒険あそび場支援検討委員会の概要】

- ・ 市民が行うプレイパーク活動を積極的に支援するためのルールや行政支援のあり方を、区役所・関係行政機関・既存活動団体・子育て支援団体・青少年育成関係者・公募市民等で検討します。各団体は、各々で適宜子どもの意見を吸い上げながら、検討に反映させるものとします。

〈委員会への参加を呼びかける団体〉

#### 既存活動団体

- ・ ポレポレ
- ・ グリーンフォーラム 21 みやまえ
- ・ 野川こ文プレイパーク(自主学童保育ささのはクラブ)

#### 子育て支援団体・青少年育成関係者

- ・ 地域で子育てを考えよう連絡会
- ・ 宮前区青少年指導員連絡協議会
- ・ 宮前区運動普及推進員連絡協議会
- ・ 宮前区民生委員・児童委員協議会
- ・ 宮前区子ども会連合会
- ・ ボーイスカウト、ガールスカウト
- ・ 宮前区地域教育会議

#### 宮前区全町内・自治会連合会

- ・ 公園・緑地管理運営協議会を組織している町内会・自治会から参加

#### 第2期区民会議委員(若干名)

宮前区役所(企画課、地域振興課、こども支援室、道路公園センター)

## 提案③：もっと公園を楽しもう～宮前区公園月間の設定～

### 【趣旨・目的】

- ・ 公園は誰もが気軽に使えるオープンスペースですが、中にはあまり使われていない公園もあります。
- ・ 公園を地域コミュニティの核としていくために、地域住民にもっと公園に目を向けてもらう必要があります。

### 【実施内容】

- ・ 毎年、桜の咲く4月と落葉の季節の11月を「宮前区公園月間」として、イベントなどの開催を地域に呼びかけます(イベントには、例えば落葉を使った染物など伝統文化を取り入れることも考えられます)。
- ・ 現在発行している「歳時記みやまえ」をモデルに、「みやまえ公園イベント情報」を毎月発行し、各町内会・自治会を通じ区内各世帯に回覧します。
- ・ 同時に、宮前区地域ポータルサイト「みやまえぼーたろう」でも公園でのイベント情報を発信します。
- ・ 「宮前区公園の日」の呼びかけは、区民会議委員が所属している各団体や、公園・緑地管理運営協議会や愛護会などに委員や区役所が直接行うほか、「みやまえ公園イベント情報」や「みやまえぼーたろう」上でも行います。

## 提案④：公園・緑地管理運営協議会をサポートしよう！

### 【趣旨・目的】

- ・公園・緑地管理運営協議会は、維持管理だけでなく地域コミュニティの担い手としての役割も期待されています。
- ・しかしながら、実際には地域コミュニティの担い手としての意識はあまり強くなく（設立当初はそう認識されていたとしても、年数が経つと忘れられてしまう）、専ら維持管理を行う組織として認識されている傾向が見られるため、その役割を認知してもらおう継続的な取組が必要です。

### 【実施内容】

- ・現在、公園・緑地管理運営協議会が設立されている公園には、「〇〇公園・緑地管理運営協議会が管理運営しています」といった表示があるだけなので、公園管理者と協議のうえ、その趣旨・役割等をわかりやすく表現した看板を掲示することが望ましいと考えます。
- ・趣旨・役割等をわかりやすく掲示することで、管理運営協議会は維持管理だけではなく公園の企画運営まで行うことができる団体であるということ、公園を地域コミュニティの拠点として積極的に活用していくことができるということを市民・管理運営協議会の双方に周知できます。
- ・また、市民の側では区民会議委員が中心となって、地域の協議会と積極的に関わり、サポートしていくことが重要と考えます。
- ・さらに行政側では、協議会の代表者が集まる会議の場を活用し、研修などを通じて地域コミュニティの担い手であるという協議会の趣旨を継続的にお知らせすることや、区民会議での審議経過を伝えることなどを行うべきと考えます。

## 2. 地域資源を活用した地域コミュニティの活性化に関する提案

### 1) 宮前区の宝・顔に関する現状と取組

#### (1) 地域資源（宝物）に関する現状

宮前区内には、歴史文化・自然・市民活動・都市農業など多くの魅力的な資源がありますが、その大半は区民にあまり知られていません。

これは、昭和41年の田園都市線の長津田駅までの延伸に伴って順次沿線開発が始まったという宮前区の歴史的経緯に起因していると考えられます。都心部のベッドタウンとして発展を遂げてきた宮前区は、都市としての歴史もまだ40年余であり、また、過去に社宅などが多かった関係で通勤族が多く、いわゆる「川崎都民」と呼ばれる区民が数多く住んでいるという特徴があります。

このため、宮前区は極端に言えば「腰掛けで住むところ」「眠るためだけに帰るところ」といった場所となってしまう、生活をする上で地域のことにさほど関心を払う必要がありませんでした。例えば、住宅地のすぐそばで展開されている都市農業では、「かわさきそだち」にも指定されている質の良い農産物がたくさんありますが、区内での販売ルートがあまり確立されていないことなどから、区民にはあまり知られていません。

こうした状況などもあり、市内7区中では最も遅い形となりましたが、平成19年度には、「住んでよし・訪れてよし」をキャッチフレーズに、宮前区観光協会が発足し、区内の魅力発信に向けた活動を開始しています。

このほかに一般論として、地域の宝といえるものに目に見える宝のほか、目に見えない宝として風土などもあると考えられます。

#### (2) 宮前区に対する内外のイメージ

部会では、「自然豊かな閑静な住宅地で、教育水準も高いといわれているが、繁華街が少なく、特徴・シンボルに欠ける面がある」といったものが、概ね委員が共通して抱いている宮前区のイメージでした。

一般的には、田園都市線沿線を中心に、都心へのアクセスの良さと緑豊かな暮らしを併せ持つ住宅地としての人気が高いほか、特に教育の評価が高く、子どもの教育のために宮前区に引っ越してきたという話も聞かれます。

その一方で、「宮前区ってどんなまち？」と一般区民を対象に聞いたとしても、答えられるものや、共通のイメージが無いのではないかと、という感想を持ちました。

平成14年度に行われた「川崎市政及び区政に関する市民1万人アンケート」によれば、「お住まいの区のイメージは？」という設問に対して、「とくにない」と回答した区民の割合が7区で最も高かった(12.1%)という結果が、この委員の感想を裏付けるデータになっていると考えられます。

#### (3) その他宮前区をめぐる現状

宮前区は、宮前地区と向丘地区とに分かれており、現在は、東名高速道路が概ねその境となっています。川崎市域はかつて武蔵国の一部を構成していましたが、宮前地区は相模の国の影響が、向丘地区には武蔵の国の影響が残っているのではないかと、との意見

が委員からは出されました。

このほか、現在雑誌等において紹介される機会が多いのは、田園都市線沿線の地域が中心となっています。

## 2) 解決すべき課題など

### (1) 資源の分類について

課題の抽出や解決策の検討に先立ち、宮前区内の既存の資源の情報の収集を行いました。また、それを広く区民に紹介することを見据え、資源の分類方法等について審議しました。

#### ■ 5つの大分類…自然、歴史文化、産業、活動、まち・施設

資源の分類については、できるだけわかりやすくシンプルであるべきという意見を踏まえ、以下の5つの大分類としました。

自然	緑・緑地・公園、水、生物、植物 など
歴史文化	史跡・遺跡、歴史のある道、伝承・民俗文化、寺社仏閣、ゆかりの人物 など
産業	食べ物、その他産物、農業、工業 など
活動	イベント、市民活動 など
まち・施設	ランドマーク・モニュメント、施設、道、商店 など

また、これらの資源を実際に紹介する際には、その資源のある地域やその資源を楽しむことができる時期などもデータ化し、資源データの検索の方法はできるだけたくさんあった方がよいとの意見もありました。

#### ■ 楽しむ方法…みたい(見/観)・ききたい(聞/聴)、買いたい・食べたい、やってみたい

宮前区の資源を紹介する際に、区民にその資源により親しみを感じてもらうために、「楽しむ方法」という別の観点から資源を分類することとしました。

### (2) 「資源」「宝」「顔」の定義について

具体的な課題解決策の審議にあたり、部会で何気なく使われていた地域の「資源」「宝」「顔」という言葉について、しっかり定義することとしました。

#### 宮前区の「資源」・まだ区民が知らない、区民にあまり知られていないものも含む

もっとも広い範囲をさす言葉で、まだ発見されていないものも含まれる。

#### 宮前区の「宝」…区民に知られている、区民に大切にされているもの

資源の中でも、ある一定の地域や範囲の区民に知られているもの。また、区民に大切にされているものが“宝”である

#### 宮前区の「顔」…区外にも知られている、区民の誇り・シンボルになっているもの

宝の中でもさらに、区外にも広く知られており、宮前区の魅力として広く認められているもの、区民の誇りやシンボルになっているものが“顔”である。

例えば、宝物はある地域や人々の間で密かに、門外不出の形で守られている場合も考えられますが、顔になるには、外からもその魅力が明確になっている必要があるものと考えられます。

(3) 「宝」や「顔」があるまちのイメージ

まちの宝や顔があることによって、次のような効果が期待できると考えられます。

【区民一人ひとりの立場で考えた場合】

- ・ 「宮前区ってどんなまち？」と聞かれた場合、自信を持って、自分の住んでいるまちの特徴や魅力を区外の人に紹介することができる
- ・ それぞれが地域に愛着を持っていて、終の棲家とすることも考えている
- ・ 地域を大切に思い、近隣との良好なコミュニケーションが図れている

【地域社会全体で考えた場合】

- ・ 地域に愛着を持つ区民が多くなることで、豊かな地域コミュニティが形成されている
- ・ 豊かな地域コミュニティを礎として、地域の課題も地域が主体となって解決にあたっている

(4) 解決すべき課題について

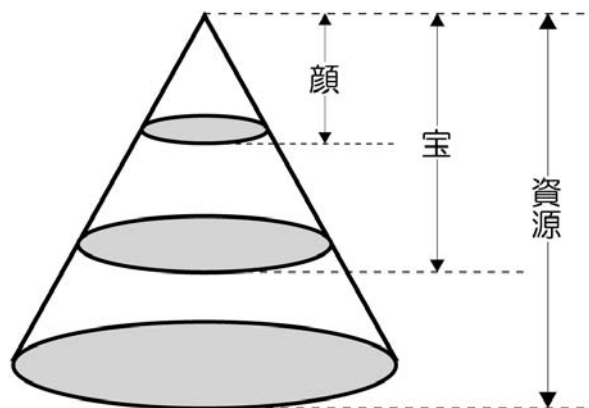
宝や顔があるまちづくりに向け、部会では、解決すべき課題を次のとおりとしました。

■ **課題：区内の資源の共有・押し上げ**

区内の「資源」が「宝」や「顔」となっていくためには、まず区民一人ひとりに資源の存在を知ってもらったうえで、区内全体で共有し、最終的には対外的に発信して区外からも認知してもらう必要があります。

「資源」が「宝」を経て「顔」となるまでのプロセスを図で示すと以下のようになります。共有の度合いは、「資源」が「宝」に、「宝」が「顔」になるほど高まると考えられます。地域の資源を“発見”し、それが“共有”されることで地域の宝になり、さらにそれが広く“情報発信”されることで、地域の顔となっていきます。

部会では、「資源」を「宝」や「顔」に押し上げていくプロセスを具体化し、これに地域単位で多様な世代の住民が関わり楽しみながら参加できるようにしていくことを解決すべき課題として設定しました。





#### (5) 先行事例・他地域での取組

部会では、地域資源をコミュニティの活性化に繋げている事例として、「野川ふるさとカルタ」に注目し、作成までの経緯や現状について聞きました。

その後、カルタづくりの先行事例として群馬県の「上毛かるた」について調べた結果、カルタづくりには地域の資源を再発見する効果があること、また教育現場などでカルタを活用することで資源の共有が期待できることなど、地域コミュニティの活性化に大きな効果があることがわかってきました。

##### 【野川ふるさとカルタ】

- ・ 宮前区野川では、平成 18 年から 20 年にかけて、宮前第 1 地区社会福祉協議会が中心となり、地域の良さや歴史を知ってもらうための手段としてカルタを制作しました。
- ・ カルタは地域の学校や町会、子ども会などに配布され、現在は絵札を題材に地域を廻るスタンプラリーなどが企画されており、カルタを中心とした地域コミュニティが活性化し始めています。

##### 【上毛かるた】

- ・ 群馬県では、故郷の文化や歴史を子どもたちに伝えるため、昭和 22 年に郷土カルタが制作されました。
- ・ 上毛かるたでは、幅広い題材が読まれており、カルタで取り上げられることで現在まで語り継がれた人物もいるなど地域の文化、歴史を繋ぐ効果的な題材となっています。
- ・ また、発行翌年の昭和 23 年からは上毛かるた県競技大会も開催され、子どもたちが練習に励む姿は風物詩となっています。
- ・ 『少年時代を群馬県で過ごした人は必ず知っている』とまで言われるほど地域の共有財産として認知されています。
- ・ また、カルタを題材に県の名所・歴史・文化などを巡るバスツアーが開催されるなど、子どもから大人まで幅広い世代で活用されています。

### 3) 地域の宝さがしを通じた地域コミュニティの促進に関する具体的な解決策

#### 提案：宮前区のカルタをつくろう！

##### 【趣旨・目的】

- ・ 幅広い世代が参加して地域の「資源」を探し出し、「宝」・「顔」へと押し上げていく過程を通じて、地域への愛着を涵養し地域コミュニティの活性化を目指します。

##### 【実施内容】

##### ■ みやまえカルタを制作します

- ・ 平成 24 年度に区政 30 周年記念を迎えることから、その年を目指し区政 30 周年記

念みやまえカルタを制作します。

- ・ その前段として、8つの中学校区ごとの地区別カルタを地域が主体となって制作します。
- ・ 区政30周年記念みやまえカルタは、上記地区別カルタから選抜することとします。
- ・ カルタの制作にあたっては、「まち歩き」や地域のワークショップを実施するなどそのプロセスを重視することとし、より多くの区民が参加できる方法を目指すこととします。

### ■ みやまえカルタを活用します

- ・ 制作されたみやまえカルタは、地域を知り愛着を深めるツールとして、地域版・全区版とも各種イベントや教育現場で積極的に活用するものとします。

## 【実施主体とその役割】

### ■ みやまえカルタ制作実行委員会の設立

- ・ みやまえカルタ制作実行委員会(以下「実行委員会」といいます。)において、カルタ作りの基本の方針を策定します。
- ・ 実行委員会では、中学校区ごとの部会を設け、そこで地区別のカルタを制作することとします。部会の実際の活動に際しては、実行委員会のメンバーだけでなく、広く地域から参加者を募ることとします。
- ・ 地区別カルタの制作状況の進行管理・内容調整を行います。
- ・ 多くの人に、地区別カルタの制作過程やその成果を知ってもらうため、発表会イベントを開催することとし、その企画を本委員会が行います。
- ・ 地区別のカルタから選抜される区全体のカルタの選考を行います。

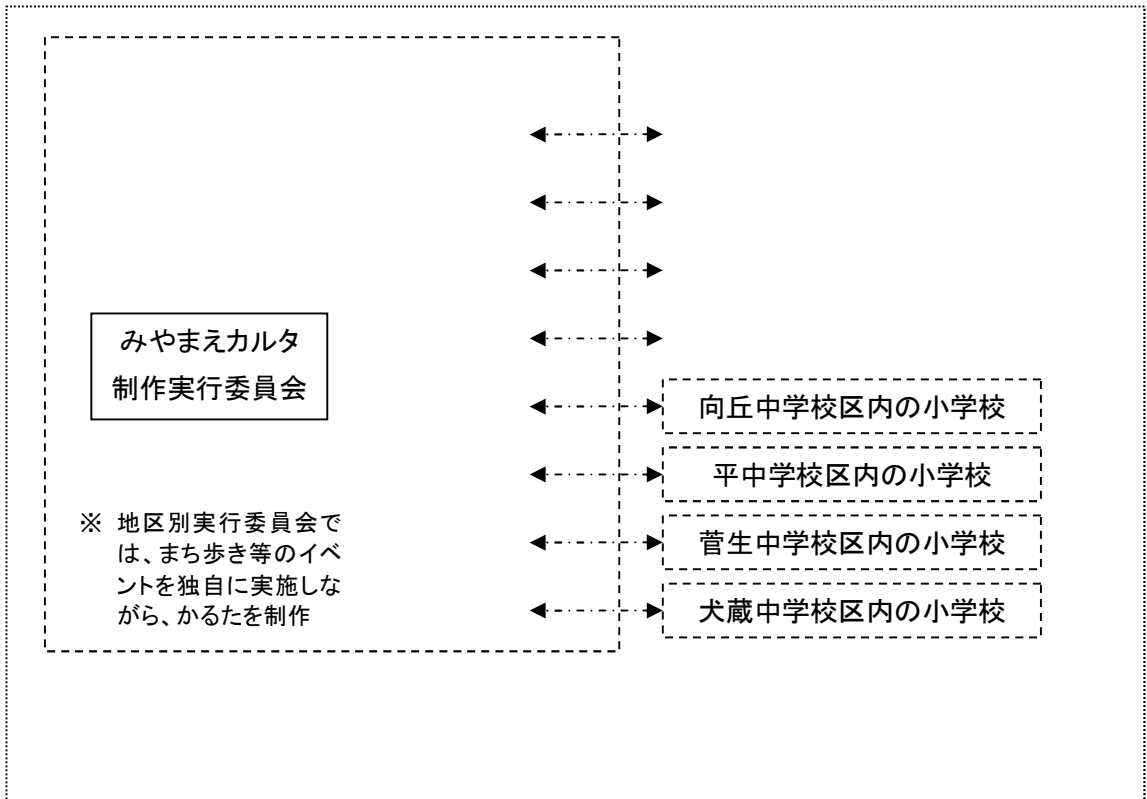
### 〈実行委員会への参加を呼びかける団体(案)〉

- |                           |                       |
|---------------------------|-----------------------|
| ・ 宮前区全町内・自治会連合会           | ・ 宮前区観光協会             |
| ・ 宮前区商店街連合会               | ・ 宮前区文化協会             |
| ・ 宮前区老人クラブ連合会             | ・ 宮前区社会福祉協議会          |
| ・ 宮前区民生委員・児童委員協議会         | ・ 宮前区地域教育会議           |
| ・ 宮前区PTA協議会               | ・ グリーンフォーラム21 みやまえ    |
| ・ 宮前区歴史文化調査委員会            | ・ 株式会社フューチャーリンクネットワーク |
| ・ 第2期区民会議委員(若干名)          |                       |
| ・ 宮前区役所(企画課、地域振興課、こども支援室) |                       |

### ■ 各小学校での取組

- ・ 総合的な学習の「まち探検」の時間を活用し、小学校区単位で手製のカルタ作りを行ってもらうことを、実行委員会から依頼します。
- ・ 制作されたカルタは実行委員会に提出してもらい、地区別カルタの制作に活用することとします。
- ・ 各小学校に対しては、実行委員会から講師を派遣したり、地域の資源の紹介などを行ったりします。

【実施体制イメージ】



【スケジュール】

- ・ みやまえカルタの制作にあたっては、概ね次のスケジュールで実施することが望ましいものとします。

	取組内容
22	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 全体の実行委員会を立ち上げ →中学校区ごとの部会を立ち上げ</li> </ul>
23	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ まち歩き(テーマ別)</li> <li>・ 読み札募集</li> <li>・ 絵札募集</li> <li>・ 地区ごとにフォーラム開催</li> <li>・ 読み札選考</li> <li>・ 絵札選考</li> <li>・ カルタ制作</li> <li>・ 地区ごとにカルタ大会を開催</li> </ul>
24	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ カルタの人気投票(インターネット)</li> <li>・ 区民祭で各地区のカルタのプレゼンテーションと人気投票</li> <li>・ 人気投票の結果を受けて、(仮称)区政 30 周年記念みやまえカルタを制作</li> <li>・ 区政 30 周年記念大カルタ大会の開催</li> </ul>
<p>&lt;平成 25 年度以降&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地域のイベントや教育現場での活用</li> </ul>	

## 第6章：第1期提案への取組

第1期宮前区区民会議提案に対する取組の実施状況や経過について、毎回の全体会の場で、行政と区民が双方から報告を行い、意見交換を行う場を設けてきました。

ここにこれまでの成果を総括します。

### 1. 第1期宮前区区民会議からの提案一覧

#### 高齢者福祉（8提案）

→できるだけ要支援・要介護にならない

→要支援・要介護になっても住みつけられる

→要支援・要介護になってもそれ以上悪くならない

- 提案① ご近所サークルの形成
- 提案② 地域ぐるみの散歩活動などの実施
- 提案③ 出前講座の実施
- 提案④ 高齢者の学校給食体験の実施
- 提案⑤ 地域高齢者を見守る会議の設置
- 提案⑥ 団塊世代による高齢者福祉のサポート
- 提案⑦ 成年後見制度の普及・啓発
- 提案⑧ 市営住宅などにおけるひとり暮らし高齢者の見守り

#### 子育て支援（9提案）

→親は家庭においてしっかり子育てをする

→家庭における子育てを地域でサポートする

- 提案① 健診時における情報の収集・発信
- 提案② 町内会組織などを利用した、効果的で効率的な地域子育て情報の発信
- 提案③ 公立保育園の園庭開放などにおける積極的な声かけの実施
- 提案④ 赤ちゃん広場の拡充
- 提案⑤ 子育て支援センターの拡充
- 提案⑥ 公立保育園園庭開放の拡充
- 提案⑦ 地域による公園管理の促進
- 提案⑧ 子育て関連組織による協議会（ネットワーク）の立上げと運営
- 提案⑨ 地域などへの出前講座の実施

#### 明日のコミュニティ（3提案）

→宮前区のコミュニティは小学校区単位から

人と人とのつながり(顔の見える関係)の強化。宮前区の特徴を活かしたコミュニティの促進

- 提案① 小学校区単位での地域の特徴を活かしたコミュニティの促進
- 提案② 「地域のたまり場」の創出
- 提案③ 「地域のつなぎ手」の育成

#### 地域防災（3提案）

→災害に強く被害を最小限に留める地域の形成

- 提案① (仮称)「みんなでやろう防災対策」の作成
- 提案② 防災出前講座の拡充
- 提案③ (仮称)宮前区防災推進員の育成

## 2. 提案内容と提案に対する取組状況

### 2-(1) 高齢者福祉（8提案）

<b>高齢者福祉 提案① ご近所サークルの形成</b> ~ご近所サークルの形成で、地域で「顔の見える関係」を築き、支え合おう！~	
<b>■提案</b> ・脱閉じこもり、近隣の支えあい、災害弱者対策などにつなげる。 ・徒歩圏内で、できそうな地域、協力可能な家庭や施設から、高齢者を含めて始める。 ・開催頻度・規模などは気楽な形、負担の少ない形で始め、人間関係構築を重視する。 ・「わたしの町のすこやか活動」を基盤に地域のネットワークを広げていく。	
<b>■方向性</b> 担い手：◎市民 ○区役所 所管課：高齢者支援課／地域保健福祉課 ・ご近所サークルの普及啓発 ・新規サークル立上げに向けた出前講座開催、区役所ロビーでのご近所サークル紹介ビデオ放映 ・地域包括支援センターによるすこやか団体への支援、すこやか連絡会への事務局支援 など	
提案時（H19.03）の状況 <span style="font-size: 2em;">➡</span> 現在（H22.03）の状況（新たな物）	
<b>ご近所サークル</b> ・野川地区：ダイヤモンドクラブ約 20 ・有馬地区：個人宅 1 ・南平台地区：市営住宅 1、個人宅 1 <b>その他</b> ・わたしの町のすこやか活動 5 箇所 ・すこやか連絡会の開催	すこやか活動や相互交流を通じ、ご近所サークルが地域に広がっている。 今後も行政と地域包括支援センターが支援を行い、高齢者の健康づくり・ご近所の見守りなどの活動を進めていく。 ・野川地区、菅生 3 丁目地区、神木本町地区などでご近所サークルが増加 ・わたしの町のすこやか活動 10 箇所 （市内 7 区最多の団体数） ・すこやか連絡会の定期開催（年 2 回） ・活動団体合同研修会 130 名参加（H21.01） 名参加（H22.02）

## 高齢者福祉 提案② 地域ぐるみの散歩活動などの実施

～地域ぐるみの散歩・体操活動から健康増進・介護予防・地域の見守りへつなげよう！～

### ■提案

- ・地域の自然や歴史などの魅力と絡め、参加への興味・関心・動機付けを高める。
- ・男性の地域デビュー、まちの資源の再発見の場としても活用を図る。
- ・マップづくり、ワークショップなど地域コミュニティ再発見の場を目指す。

### ■方向性 担い手：◎市民 ○区役所

所管課：地域保健福祉課／高齢者支援課

- ・運動普及推進員の増員、関係機関や活動グループとの連携を深めるための支援
- ・「わたしの町の介護予防ボランティア講座」の継続実施、講座受講者の活動支援
- ・公園体操マップの作成、広く区民に呼びかけ（協働推進事業として位置づけ）
- ・保健師の派遣等の団体の立上げ、活動の支援 など

### 提案時（H19.03）の状況

- ・公園体操 23 会場  
(H19 年度時の行政把握分)

### 現在（H22.03）の状況（新たな物）

高齢者の健康維持・増進を図る健康づくり、また転倒予防・閉じこもり予防・認知症予防等の介護予防を目指し、地域住民が主体的に体操などの運動や仲間づくりを行っている。

公園体操については、包括支援センターと行政の連携による新規グループ立ち上げ支援や継続意欲喚起のための交流会などが行われている。会場も増えてきており、公園体操が広がることで住民の支えあいの意識とネットワークが強くなっている。

- ・公園体操 39 会場
- ・グループ交流会 90 名参加 (H21.02)
- ・公園体操マップ発行 (H21.12)
- ・宮前区オリジナル体操「～風の中で～」  
CD/カセット発行 (H22.01)

### 高齢者福祉 提案③ 出前講座の実施

～老後のくらしの充実、担い手育成を目的としたより身近な出前講座を開催しよう！～

#### ■提案

- ・週末や平日夜間の開催など、現役世代も参加しやすい講座を開催する。
- ・講師には専門家だけでなく、地域や区内の人材の活用を図る。
- ・介護、老後の暮らし、財産管理、運動や趣味の講座など多様な講座の展開を目指す。

#### ■方向性

担い手：◎市民 ○区役所

所管課：地域保健福祉課／高齢者支援課

- ・新たに、老人いこいの家での転倒予防に関する講座を開催
- ・成年後見制度の普及・啓発に向けた取組として、出前講座を開催（提案7と共通）

#### 提案時（H19.03）の状況

- ・各団体の講演会、市民後見人養成講座等
- ・出前講座、介護予防普及啓発事業等

#### 現在（H22.03）の状況（新たな物）

- 地域包括支援センターと協力し、身近な場所で高齢者対象のさまざまな講座を開催中。
- ・老人会、自治会等での健康づくり講座
  - ・老人いこいの家（区内5箇所）における週に1度の「いこい元気広場」
  - ・ミニデイ、一人暮らし高齢者会食会等での講座

### 高齢者福祉 提案④ 高齢者の学校給食体験の実施

～高齢者の栄養の改善、子どもたちとの世代間交流を促進する学校給食体験を実施しよう！～

#### ■提案

- ・週1回、3ヶ月程度の継続を目安に、栄養改善効果が実感できるようにする。
- ・両者の食事スピードなどを考慮した開催方法を検討する。
- ・学校給食体験の御礼として高齢者が昔の遊びを教えるなど、更に交流を深める。

#### ■方向性

担い手：○市民 ○区役所 ○市役所

所管課：地域保健福祉課／高齢者支援課

- ・栄養改善に関わる各種講座の開催、介護グループへの支援
- ・区内高齢者の「元気度チェック」調査の実施、調査結果に応じた介護予防教室への参加推奨等

#### 提案時（H19.03）の状況

- ・デイサービスやすこやか活動と地域小学校の交流等

#### 現在（H22.03）の状況（新たな物）

- 閉じこもりの予防、孤独感の解消のために、高齢者の関心の高い認知症予防をテーマとした料理プログラムや講話などを実施している。
- ・栄養改善に関わる各種講座の充実
  - ・すこやか活動の支援・連携
  - ・認知症予防教室料理プログラム

## 高齢者福祉 提案⑤ 地域で高齢者を見守る会議の設置

～地域の高齢者への有効な支援に向けた高齢者福祉関係者の情報交換の場を形成しよう！～

### ■提案

- ・自主活動グループ、町内会・自治会、地区社会福祉協議会、民生・児童委員、商店、家族、警察などの情報や意見の交換の場、見守りを連携して行なう会議を組織する。
- ・地域包括支援センターを核とし、H19年度は準備期間、H20年度よりモデル実施する。

### ■方向性

- 担い手：◎市民 ○区役所  
 所管課：高齢者支援課／地域保健福祉課
- ・地域包括ケア連絡会議の本格実施

#### 提案時（H19.03）の状況

- ・3箇所地域包括連絡ケア会議の取組開始

#### 現在（H22.03）の状況（新たな物）

不定期に行われていた地域包括ケア連絡会議が定期的開催され、民生委員・自治会長等と高齢者の見守り等について活発な意見交換が行われている。

<みかど荘>

毎月1回 野川セブン定例会において

<鷺ヶ峰>

年3回程度、白幡台老人いこいの家および南平集会所にて

<フレンド神木>

全体会を2ヶ月に1回、部会は随時開催

<富士見プラザ>

年3回程度開催

<レストア川崎>

鷺沼・犬蔵など各地域に出向き随時開催

## 高齢者福祉 提案⑥ 団塊の世代による高齢者福祉のサポート

～団塊世代の力を高齢者福祉の現場で活用しよう！～

### ■提案

- ・老人いこいの家などを拠点に地域活動サポートセンターを設置し、団塊世代を含む高齢者に向けての情報発信、担い手育成の拠点とする。
- ・地域の実情に合わせ、おやじの会、趣味のサークル、老人会などと連携を図る。
- ・わかりやすい情報拠点・窓口を目指し、モデル実施、団塊世代の登用を図る。

### ■方向性

- 担い手：◎市民 ○区役所  
 所管課：企画課

- ・キックオフ事業 講演会・パネルディスカッションの開催
- ・担い手（シニアリーダー）育成事業
- ・シニアライフ相談窓口の設置 など

#### 提案時（H19.03）の状況

- ・みやまえ区民フォーラムの開催

#### 現在（H22.03）の状況（新たな物）

宮前区シニアアドバイザーとの協働によるシニアライフ支援事業を展開中。

- ・シニアライフ相談窓口・よろずシニア本舗みやまえの開設（毎週木曜）

区民祭、向丘出張所での出張相談

- ・大人の文化祭 in みやまえ開催



## 高齢者福祉 提案⑦ 成年後見制度の普及・啓発

～判断能力の不十分な方を支援する成年後見制度をより広く普及・啓発しよう！～

### ■提案

- ・地域での出前講座の中でとりあげるなどして、制度の普及・啓発を図る。
- ・市民成年後見人やボランティアによる被後見人支援の事例の収集・研究を行なう。

### ■方向性 担い手：○市民 ○区役所 所管課：高齢者支援課

- ・制度の認知度をあげるため、区民の養成に応じて成年後見制度の出前講座を開催
- ・地域ケア連絡会議で成年後見制度の説明会を実施

#### 提案時（H19.03）の状況

- ・市民後見人養成講座の開催
- ・成年後見制度利用事業
- ・川崎あんしんセンターの開設

#### 現在（H22.03）の状況（新たな物）

- ・講座・利用事業の継続実施
- ・あんしんセンターの全区展開
- ・区地域ケア連絡会議等での普及啓発活動、専門職向け研修会開催、権利擁護部会の設置

## 高齢者福祉 提案⑧ 市営住宅などにおけるひとり暮らし高齢者の見守り

～市営住宅の空き部屋などを利用した高齢者見守り拠点を設置しよう！～

### ■提案

- ・高齢化が著しい市営住宅で、空き部屋を利用した高齢者の見守り拠点を設置する。
- ・見守り役を担うことを条件に所得制限などに関わらず入居できるような制度創設などにより、見守りの人材を確保する。

### ■方向性 担い手：◎市民 ○区役所

所管課：地域保健福祉課／高齢者支援課

- ・野川西団地の事例を参考に、地域で高齢者を見守っていく取組実施への働きかけ

#### 提案時（H19.03）の状況

- ・野川西団地で棟ごとの日常的な見守り活動の実施

#### 現在（H22.03）の状況（新たな物）

- ・区内団地への野川西団地の事例紹介（H19）
- ・ひとり暮らし高齢者の生活状況聞き取り調査
  - H20 一斉調査（75歳以上対象）  
見守り対象者8人  
地区民生委員が月1、2回訪問
  - H21～新75歳および転入者対象調査
  - H23 一斉調査予定

## 2-(2) 子育て支援 (9提案)



|

|





## 2-(3) 明日のコミュニティ(3提案)



## 2-(4) 地域防災 (3提案)





## 第7章：第3期以降に向けて

2年に及ぶ第2期の取組を通じて評価すべき点と、第3期以降の区民会議において改善すべきと思われる点について、各委員から、主に次のような意見が出されました（意見の詳細については、資料48参照）。

### 2 審議対象課題の優先順位付け、分野、規模、課題の数など

#### ■第2期の運営で評価すべき点

#### ■第3期に向けた課題

### 3 区民会議(全体会)の会議運営

#### ■第2期の運営で評価すべき点

#### ■第3期に向けた課題

## 4 専門部会の会議運営

■第2期の運営で評価すべき点

■第3期に向けた課題

## 5 区民会議から提案された課題解決策の取組と進行管理

■第2期の運営で評価すべき点

■第3期に向けた課題

## 6 その他

■第2期の運営で評価すべき点

■第3期に向けた課題



# 資 料 編

資料 1 第 2 期宮前区区民会議委員名簿

資料 2 宮前区区民会議 公園・地域づくり部会 検討経過

資料 3 宮前区の公園・緑地マップ

資料 4 宮前区区民会議 公園・地域づくり部会 具体的な課題解決策検討資料

資料 5 宮前区区民会議宮前区の宝さがし～ときめき再発見～部会 検討経過

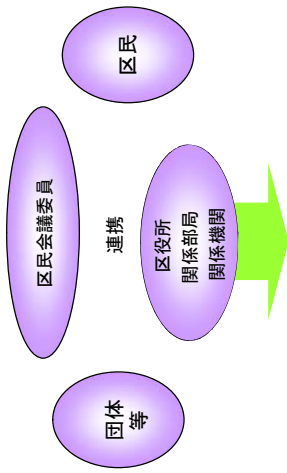
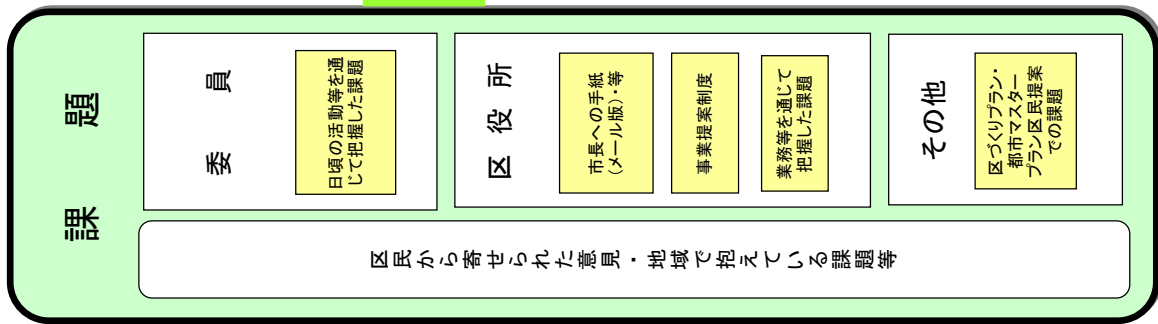
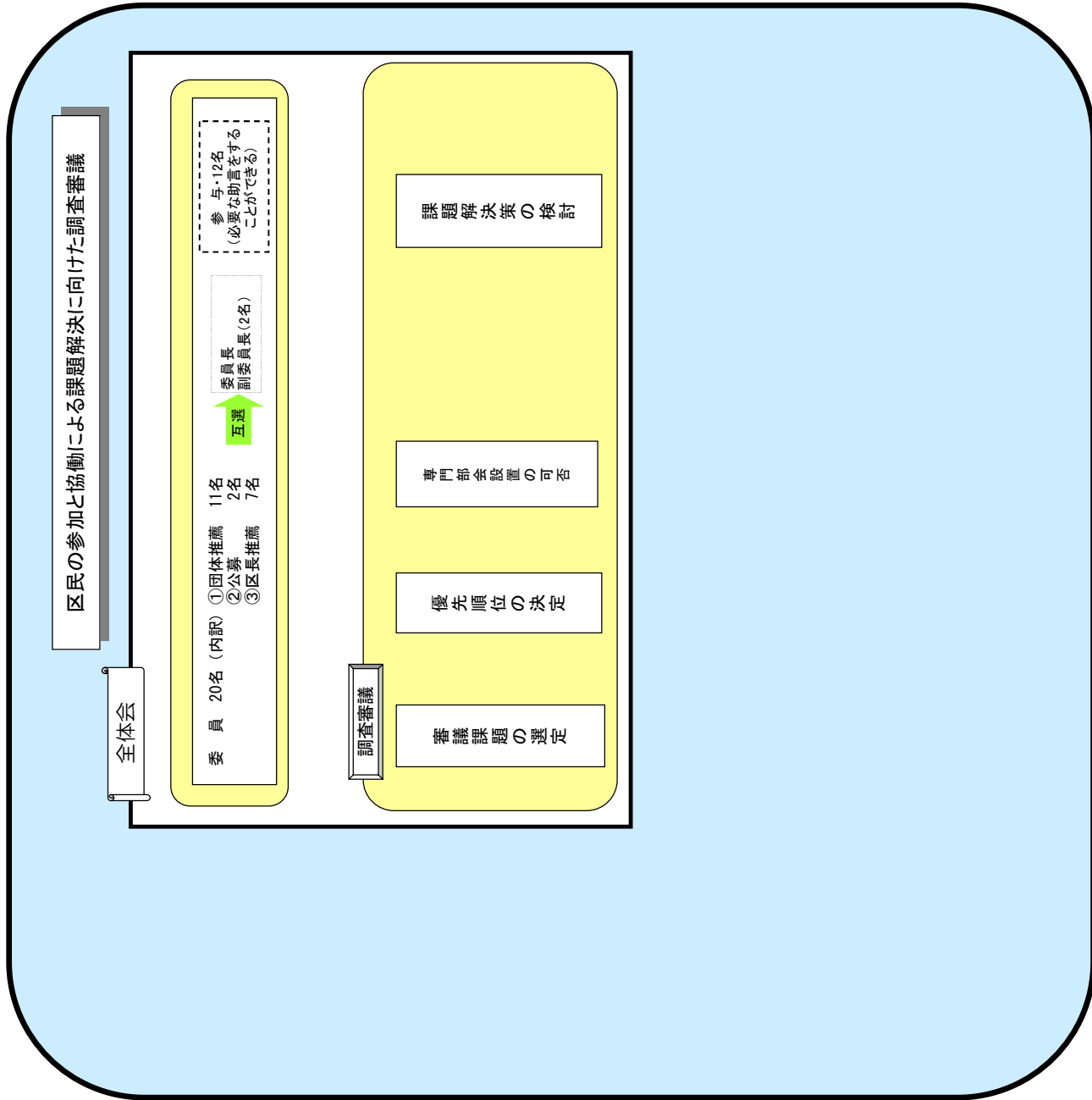
資料 6 区政 30 周年に向けた みやまえカルタの制作 検討資料

資料 7 宮前区の資源一覧

## 第2期宮前区区民会議委員

No.	部会			氏名	選出区分	分野	団体名等
	企画	公園	宝				
1	◎			★ <small>ながの</small> 永野 <small>まさる</small> 勝	団体推薦	①防災・地域交通	宮前区安全・安心まちづくり推進協議会
2		○		<small>たなべ</small> 田邊 <small>やすあき</small> 保昭 (H21.3 まで部会長)			

# 宮前区区民会議の仕組み



# 第2期宮前区区民会議委員構成

## 委員選考の基本的な考え方

- ・課題解決の担い手としての活動実績のある個人・団体
- ・宮前区のまちづくりに意欲と熱意のある個人・団体

### 団体推薦（11名） 規則で定める8分野の中からそれぞれ選定

<p>防災又は地域交通環境の向上など安全で快適な暮らしを支える分野</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆暮らしの安全を守る</li> <li>◆災害や危機に備える</li> <li>◆身近な住環境を整える</li> <li>◆快適な地域交通環境をつくる</li> <li>◆安定した供給・循環機能を提供する</li> </ul>	<p>福祉の推進、健康の増進など幸せな暮らしを支える分野</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆超高齢社会を見据えた安心のしくみを育てる</li> <li>◆障害のある人が地域で共に暮らせる社会をつくる</li> <li>◆安心な暮らしを保障する</li> <li>◆すこやかで健康に暮らす地域での確かな医療を供給する</li> </ul>	<p>子育て、教育など人を育て心をはぐくむ分野</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆子育てを地域社会全体で支える</li> <li>◆子どもが生き生きと身につける</li> <li>◆生涯を通じて学び成長する</li> <li>◆地域人材の多様な能力を活かす</li> <li>◆人権を尊重し共に生きる社会をつくる</li> </ul>	<p>緑の保全、ごみの抑制など自然環境及び生活環境を向上させる分野</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆環境に配慮し循環型のしくみをつくる</li> <li>◆生活環境を守る</li> <li>◆緑豊かな環境をつくりだす</li> </ul>	<p>産業の振興、都市拠点の形成などまちの活力を高める分野</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆川崎を支える産業を振興する</li> <li>◆新たな産業をつくり育てる</li> <li>◆就業を支援し勤労者福祉を推進する</li> <li>◆川崎臨海部の機能を高める</li> <li>◆都中の拠点機能を整備する</li> <li>◆基幹的な交通体系を構築する</li> </ul>	<p>文化又は観光の振興などまちの魅力を発信する分野</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆川崎の魅力を育て発信する</li> <li>◆文化・芸術を振興し地域間交流を進める</li> <li>◆多摩川などの水辺空間を活かす</li> </ul>	<p>地域の自治活動、市民活動など市民自治を推進する分野</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆自治と協働のしくみをつくる</li> <li>◆市民と協働して地域課題を解決する</li> <li>◆市民満足度の高い行政サービスを提供する</li> </ul>	<p>その他の地域特性に応じた課題に関する分野</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆幅広く様々な活動をつなぐ</li> </ul>
--	---	--	---	--	--	--	---

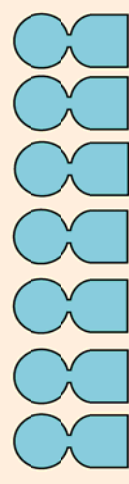
### 公募（2名）

「宮前区区民会議公募委員選考委員会」を設置し、委員を選考

- 1 委員構成 区役所職員
- 2 公募基準 応募資格、応募方法 等
- 3 選考基準 評価項目、評価点 等

### 区長推薦（7名）

性別、世代、地域バランスなど、様々な視点に配慮しながら選任  
8つの活動分野を横断的につないでいく視点や、区の問題を総合的に捉えていく視点から選任





# 宮前区における地域の課題一覧

## 第1期宮前区区民会議での審議課題

- ◎…高齢者福祉に関して解決策が提案された課題
- …子育て支援に関して解決策が提案された課題
- ▲…地域コミュニティに関して解決策が提案された課題
- ★…地域防災に関して解決策が提案された課題
- …第1期区民会議で当初整理した課題以外の課題
- ★…第2期区民会議委員から出された課題等

### 新たに追加表記した課題

#### 1 防災・地域交通 (34)

101 安全・安心

D 安全・安心に関する情報の共有化 ★

B 子どもの通学時における安全対策

D 手動式信号の反応時間の改善

C 通学路などの外周線の整備

C 防犯灯の設置と改善

C バイクや自転車による危険走行

D 救急車の私的利用

■地域の草書き

■地域の防犯対策

102 環境衛生

C ペットの飼い主マナーの改善

103 地域交通

C バス路線・ダイヤの整備

C 通勤時のバスの定時性の確保や交通弱者が生活しにくい状況の改善

B 高齢者のための区役所や公共施設などへのアクセス改善

D 向ヶ丘遊園・菅生線の拡幅に伴う利便性の向上

■放置自転車

105 景観

B 幹線道路沿道の景観整備 ★

B 水空間の景観整備

D 市境の景観整備

B 河川中心の土地利用と鉄道中心の土地利用との調和

B 公共施設等の案内板の整備

106 住環境

D 土地利用のあり方

D 開発等に伴うルールあり方

107 道路

C 菅生ヶ丘周辺の道路整備

C ゆりかご通りの交通安全対策

D 区役所前交差点への右折レーンの整備

D 信号機への地名の表示

D NEC跡地開発に伴う交通渋滞

D 街路樹の成長に伴う歩道の整備

108 市境・区境

■市境・区境における地域課題の解決方法

601 国際交流

D 外国文化との交流

602 地域活性化

C 地域間交流

C 宮前区民祭の充実

603 魅力

D 宮前区観光協会設立

B ▲歴史・文化を感じさせるまちづくり

■宮前区に多くの人が関心を持てるようにすることが必要

#### 2 福祉・健康 (8)

201 福祉全般

B 福祉サービス全般の充実

C 福祉施設の充実

A ◎身近な相談機会の創出

202 高齢者福祉

A ◎介護予防を支援する受け皿の充実

■地域ぐるみでの介護予防の活動が知られていない

203 障害者福祉

B 障害者とその家族への支援

204 バリアフリー

D 障害者・高齢者等を含めたさまざまなバリアフリー化

205 医療

C がん患者及びその家族をサポートする組織の整備

#### 5 産業・まちの活力 (10)

501 広域交通

D 鉄道網の整備

D 都市計画道路の未整備地域での渋滞解消

502 土地利用

C 土地利用のあり方

B 市の未利用地の活用

D 川の遊歩等による住宅、職場、商業地域などが混在となった土地利用

★都市農業の活性化

503 まちの活力

D 宮前平野周辺のまちの活性化

C 鷲沼駅周辺の活性化による区のシンボルゾーン化

B 住民の機づながりや地域への愛着心の醸成

★商店街の活性化

#### 3 子育て・教育 (11)

301 学校教育

D 高い教育水準にある小学校に見合った中学校、高校の不足

302 子育て活動支援

A ●子育て支援のあり方（組織・担い手・人材育成）

303 子育て活動拠点

B ●既存子育て関連施設・青少年施設等の有効活用

A ●子どもが健やかに成長する場の不足

A ●親子が安心して居られる場所の不足

304 保育

B 待機児童の解消（働く母親への支援）

C 地域で子育て

B 地域の教育力の低下

B 青少年の健全な育成

B 子どもが自分の住むまちを知り、誇りを持てる機会の創出

C 子ども達が地域でふれあう場づくり

■児童虐待

#### 4 自然・生活環境 (7)

401 環境全般

C 環境にやさしいまちづくり

402 地域環境

▲広域幹線道路沿道の騒音・排気ガス等の大気汚染の改善

403 地域環境

B タバコやごみのポイ捨て等の防止

404 緑

B 緑の保全の創出

B 水・緑等を活かした景観づくり

405 公園

C ▲利用者の観点に立った公園の有効活用

■公園が汚くて使えない

#### 7 地域組織・まちづくり (13)

701 行政サービス

D 効率的・効果的な行政サービスの提供

D 財政事情の改善

D 区役所駐車場対策

D わかりやすい区役所業務の案内

D 利用しやすい区役所庁舎の整備

D 区役所・市民館のイメージアップ

702 コミュニティ

B 町内会・自治会の活性化

C ▲地域コミュニティの再構築

B ▲地域特性を活かしたコミュニティの仕掛けづくり

703 市民参加

B 市民参加のシステム構築

D 区民会議のあり方

704 施設の有効活用

B 地域ニーズに応じた施設の有効活用

705 市民活動支援

B 効率的な地域情報の発信

# 第2期宮前区区民会議

## 審議課題の絞り込み

(事前打合せ会での委員の発言・ラベルより)

平成20年5月12日(月) 18:00~20:20 宮前区役所 集団教育ホール

テーマ  
課題・キーワード等

### 都市基盤・施設

**公園**  
協働管理  
誰もが使いやすい  
安全・清掃

### 地域交通

**交通**  
交通不便地域  
コミュニティバス  
放置自転車

**子育て**  
ネットワーク  
母親のゆとり・支援

### 子育て・教育

**青少年**  
健全育成  
居場所・遊び場  
地域活動参加

### 福祉

### 福祉・健康

**高齢者**  
健康維持  
ひきこもり防止  
見守り活動

**明日のコミュニティづくり**  
(全部会に共通すべきアプローチ)  
小地域コミュニティ、顔の見える関係づくり、  
たまり場・拠点、担い手育成(団塊・若年・男性など含む)、  
世代交流、地域参加、ネットワーク、地域情報発信  
地域組織活性化(自治会・町内会含む)など

### 地域組織・まちづくり

**シテールズ**  
宮前区らしさ  
区・シンボル  
イメージアップ

### 文化・観光

**文化・観光**  
地域資源発掘  
地域資源PR  
地域イベント

### 産業・まちの活力

**産業**  
商店街活性化  
都市農業活性化

**防災**  
共助・公助  
避難所開設・運営  
弱者の避難支援  
防災意識

### 防災

**緑**  
花と緑  
緑地保全  
区の木の利用

### 自然・生活環境

**エコライフ**  
ゴミ減量  
ゴミ排出マナー

### 生活

## まちおこし・地域活性化

※事前打合せ会での委員の意見をまとめたもの(地域課題は他にもたくさんある)

※部会の立上げ方に対する第1期の反省意見:「テーマはできるだけ絞りこむ」「年間2テーマぐらいが適当」「テーマによっては継続審議も必要」「より広範な課題抽出」「より地域密着」など

目指すべき方向性

地域みんなで共有できる宝物（顔）を通じて地域への誇りや愛着を育み、地域コミュニティの形成を図る。

全体会での意見など

- ・ときめき再発見はいい名前だ。宝が活用されないとときめかない。
- ・地域を高める。観光地として、住まいとしての価値を高める。宮前区には知られていない宝がまだまだある。
- ・新しいものを探すことも重要だが、あるものを利用することで新しいものを作ることも必要。
- ・宮前区がどんなところかアピールするものがない。
- ・宮前区は縁がたくさんあって、きれいなまちのイメージである。いいまちだと多くの人が思えるようにしたい。

- ・「やってみたい」がたくさん出てくると良い。
- ・中学校区単位くらいで、地域のみならず宝物を探してもらえそうな動きにしたい。
- ・身近な地域での宝と区全体の宝の2本立てで考えられたらいいと思う。

宮前区の宝・顔に関する現状と取組

- ◆地域資源（宝もの）に関する現状
  - 歴史文化・自然・活動・都市農業など多くの魅力的な資源はあるが、区民にあまり知られていない。
  - 区内の資源を総合的にまとめたわかりやすい資料が無い。
  - 観光協会が発足し、区内の魅力発信に向けた活動を開始した。
  - 目に見える宝のほか、目に見えない宝として風土などがある。
- ◆宮前区に対する内外のイメージ
  - 自然豊かで閑静な住宅地で、教育水準も高いといわれているが、繁華街が少なく、特徴・シンボルに欠ける面がある。
  - 区のイメージで「とくにない」の回答した区民の割合が市内7区で最も多い（H15、市民1万人アンケート）。
  - 「宮前区ってどんなまち？」と聞かれて、答えられないものや、共通のイメージが無いのではないかと。
- ◆その他 宮前区をめぐる現状
  - 宮前地区と向丘地区は、東名高速道路が概ねその境となっている。→宮前地区は相模の国の影響が、向丘地区には武蔵の国の影響が残っている？
  - 元々、田園都市線沿線を中心に、良好な住宅地として開発されてきた経緯がある。
  - メディア等の露出が多いのは、田園都市線沿線の地域が中心である。

宝や顔があるまちのイメージ

- ◆区民一人ひとりにとって・・・
  - 自分の住んでいるまちについて、区外の人を紹介することができる
  - 地域に愛着を持っている（終の棲家とする）
  - 地域を大切に思い、近隣との良好なコミュニケーションが図れている
- ◆地域社会にとって・・・
  - 地域に愛着を持つ区民が多くなることで、豊かな地域コミュニティが形成され、地域の課題も地域が主体となって解決にあたっている

解決すべき課題

- 区「宝」「顔」となりうる様々な資源を区内で共有し、区外には広くPRする必要がある。
  - PRを効果的に行うためには、資源の特徴をよく掘り出す必要がある。
- 【課題解決策に向けた検討手法】
- 課題解決策イメージ
  - 現状の特徴を把握し、資源を宝物に、宝物を顔に押し上げていく具体的なプロセス
  - 宝・顔に押し上げた区の資源を内外にPRするための具体的な手法

具体的な課題解決策

- ◆地域で資源を発掘し、宝・顔にまで押し上げる
- ◆提案：宮前区のカルタをつくろう！
  - 【趣旨・目的】幅広い世代が参加して地域の「資源」を探し出し、「宝」・「顔」へと押し上げていく過程を通じて、地域への愛着を深め、地域コミュニティの活性化を目指す。
  - 【実施内容】
    - みやまえカルタの制作
      - 平成24年度の区政30周年に向け、「**川はるさとカルタ**」をモデルに区政30周年記念みやまえカルタと8つの中学校区ごとの地区別カルタを2年かけて地域主体により制作
      - 区政30周年記念みやまえカルタは、地区別カルタから選抜して制作
      - カルタの制作にあたっては、「まち歩き」や地域のワークショップを実施するなどそのプロセスを重視
      - みやまえカルタの活用
        - 地域を知り愛着を深めるツールとして、制作されたみやまえカルタの地域版・全区版とも各種イベントや教育現場で積極的に活用
    - 【実施主体とその役割】
      - みやまえカルタ制作実行委員会の設立
        - カルタ作りの基本的方針を策定
        - 中学校区ごとの部会を設け、そこで地区別のカルタを制作
        - 地区別カルタの制作状況の進行管理・内容調整
        - 地区別カルタの制作過程やその成果を知ってもらうための発表イベントを開催
        - 地区別のカルタから選抜される区全体のカルタの選考
      - 各小学校での取組
        - 各小学校での取組
        - 総合的な学習の「まち探検」の時間を活用し、小学校区単位で手製のカルタ作りを行ってもらうことを、実行委員会から依頼
        - 制作されたカルタは実行委員会に提出してもらい、地区別カルタの制作に活用
        - 各小学校に対しては、実行委員会から講師の派遣や地域資源を紹介

目指すべき方向性

公園を地域コミュニティの場として活用していく

全体会での意見など

- ・公園がコミュニティの拠点になることで、公園に愛着が生まれ、管理が行き届く。
- ・コミュニティの場としての公園には、コーディネーターの存在が必要不可欠だ。
- ・宮前区の公園は7区でも多い方なので、これらの公園がいまいるときと比べると、区民の宝になる。
- ・子育てが終わった世代は公園に行かなくなりがちなので、楽しそうな企画があれば通りがかりでも参加できるのではないかと。
- ・盲険あそび場を実施できるようにするには、時間・空間・仲間の「サンマ」に続く4つ目の「間」を受け入れられることが大切だ。

公園・地域に関する現状

◆ 地域コミュニティなどに関する現状と取組  
(公園を絡めた解決策を視野に入れて…)

第1期区民会議では、審議課題である高齢者支援や、子育て支援、地域防災などを効果的に行うには、顔の見える関係づくり(地域コミュニティ)が重要であると確認された。

◆ 公園そのものに関する現状と取組

区内には190の公園緑地がある。

うち、街区公園：170 近隣公園：6 その他：14

公園緑地・街路樹に関する苦情が急増している  
H12：714件→H18：1,065件

地域の公園は地域が主体となって管理するのが、市の基本方針となっている。宮前区では12箇所で地域による維持管理活動等が行われている。

うち、公園緑地管理運営協議会：51  
地愛護会：78

レクリエーション、憩いの場に加え、緑地、防災拠点など公園には多様な機能がある。

夏祭りや盆踊り等地域のイベント会場、ラジオリース、健康操の会場などとして使用されている。

一部の公園で、施設の老朽化や管理が十分でないケースが見られる。

誰でも使えるオープンパークであるが、その利用方法は、立場や世代によって利害が対立する場面がある。

ゴミの不法投棄、犬や猫の糞など、一部に、マナーの悪い利用者がいる。

理想とする公園像

◆ 望ましい施設

トイ、ベンチ、看板、時計、砂場などがあげられたが、地域のニーズや実情によって異なる

◆ 維持管理・運営のあり方

地域の多様な世代が、できる範囲で無理なく主体的に維持管理に関わっている

公園利用者自らが、自主的に公園の維持管理、ルールづくり、催し物の企画運営に関わることができる

◆ 地域での使われ方(コミュニティ面)

普段から子どもからお年寄りまで、多世代の人が自由に利用しており、顔見知りの関係ができています

地域のお祭りやイベント会場としても使用され、地域の交流が図られている

解決すべき課題

◆ 維持管理について

活動に関わる人が少ない。参加者の固定化・高齢化が見られる。

公園緑地管理運営協議会が存在・役割とも地域にあまり知られていない。

自主的な公園利用のルールをみんなで話し合う組織としての公園緑地管理運営協議会の役割が内部の人にもあまり知られていない。

◆ 公園利用について

公園の利用層に偏りがあり、特定のしか利用しない傾向がある。

公園のコミュニティ的価値に関する情報発信が不足している。

利用者のマナーが良くない(ごみ・たばこ・ペットなど)

具体的な課題解決策

◆ コミュニティのきっかけづくり

提案①：公園を知ってもらおう！

～公園内に掲示板などを設置～

- 活動内容をPRする掲示板の設置
- 日ごろの活動内容を恒常的に発信できるような掲示板を設置。
- 設置の申請ができる団体は、公園で地域コミュニティに属する活動を継続的に行っているとともに、地域の利害関係の調整や掲示板の管理・運営に責任を持ってあたれる団体に限定

- 活動内容をPRするプレートの設置
- その他、公園体操や自主保育など地域コミュニティの活性化に資する団別の活動を行なっている団体については、掲示板ではなく活動内容を記したプラスチックのプレートなどを制作し、フェンス等に掲示

◆ 公園の利用促進に向けて公園の魅力アピール

提案②：「盲険あそび場」をひろめよう！

- ・「(仮称)宮前区盲険あそび場支援検討委員会」の設置し「盲険あそび場」のルールや行政からの具体的な支援のあり方について検討
- ・既存の実施団体に依頼して、実施を希望する地域団体にに対して、出張「盲険あそび場」を実施し、「盲険あそび場」が体験できる機会を確保

提案③：もっと公園を楽しむ～宮前区公園月間の設定

- ・毎年、4月と11月を「宮前区公園月間」として、イベントなどの開催を地域に呼びかけ
- ・現在、毎月発行している「歳時記みやまえ」を毎月発行し、「みやまえ公園イベント情報」を毎月発行
- ・同時に、宮前区地域ポータルサイト「みやまえほーたる」でも公園でのイベント情報を発信

◆ 維持管理・運営の担い手・組織など

提案④：公園・緑地管理運営協議会活性化のための支援

- ・協議会の代表者が集まる会議の場を活用し、その趣旨を継続して周知
- ・公園管理者と協議のうえ、その趣旨・役割等を明示した看板を掲示
- ・区民も協議会と積極的に関わってサポート

## ■ 第3期以降の宮前区区民会議に向けた委員意見一覧

第2期宮前区区民会議の各委員からは、2年に及ぶ取組を通じて評価すべき点と第3期以降の区民会議において改善すべきと思われる点について、次の意見が出されました。



**第2期宮前区区民会議総括報告書**  
平成22年3月

発行：宮前区区民会議/宮前区役所  
(宮前区役所企画課)

〒216-8570

川崎市宮前区宮前平2-20-5

電話：044(856)3136/FAX：044(856)3119

ときめき咲くまち宮前区



MIYAMAE



## 平成 21 年度 宮前区区民会議フォーラムの開催について(案)

### ■ 日時

平成 22 年 3 月 27 日(土) 13:00～16:00

### ■ 目的

- ① より多くの区民に区民会議の意義・役割を知ってもらう
- ② 参加した区民と共に、第 2 期の提案内容の具体的な進め方について考える  
(区民とともに開く**拡大区民会議**のイメージ)
- ③ ①・②によって、実際に一緒に取り組む担い手を増やす
- ④ 第 3 期委員就任予定者との情報共有(取組経過・地域課題・運営上の課題等)

### ■ 場所

宮前区役所大会議室

### ■ 内容

- ① 第 2 期宮前区区民会議の総括(委員長)
  - ・ 区民会議制度全般について
  - ・ 審議経過について
  - ・ 運営上の課題について
- ② 第 2 期宮前区区民会議の提案内容報告について(両部会長)
  - ア 公園・地域づくり部会
  - イ 宮前区の宝さがし～ときめき再発見～部会

### ③ 分科会

#### (1) 第 2 期区民会議からの提案について

報告のあった 2 つのテーマに関する実際の取組手法等について議論・発表  
公園：「冒険あそび場の検討に際して参考となるアイデア」を語り合う  
例) どうやったら地域合意が得られるか？  
行政には何を支援してもらったらよいか？  
宝さがし：「具体的なカルタの制作手法」を語り合う  
例) 地域ごとのカルタ制作をどのようなプロセスで進めるか？  
そのプロセスにより多くの参加者を集めるには？

#### (2) 第 3 期に向けて

運営上の課題や審議対象テーマについて議論・発表

#### (3) まとめ

分科会終了後、全体会で分科会の検討結果について簡単にまとめる

### ■ 参加者の確保について

- ・ 市政だより・町内会回覧・HP により広報する。
- ・ その他、第 2 期の提案への協力をお願いする団体にも、文書で参加を要請する。
- ・ 委員は、1 人 1 名以上連れてくる。

■ スケジュール

時間	内容	役割分担
11:30	委員集合・会場準備 打合せ（進行確認等） 発表リハーサル等	
12:30	開場・受付	
13:00	区長あいさつ	松下区長
13:05	全体会① 第2期宮前区区民会議の総括	永野委員長
13:30	全体会② 第2期区民会議の提案内容報告 プロジェクター等用いて各15分 ①公園・地域づくり部会 ②宮前区の宝探し～ときめき再発見～部会	佐藤部会長 高木部会長
14:00	休憩・座席移動	
14:10	分科会① 区民会議の提案について 議論：30分/発表：10分×2グループ	
15:00	休憩	
15:10	分科会② 第3期に向けて 議論：30分/発表：10分×2グループ	
16:00	本日のまとめ・閉会	

■ 役割分担

役割	担当者	備考
全体の進行管理	事務局	
会場設営		
受付		
司会		
区長あいさつ		
全体会① (第2期の総括)	永野委員長	
全体会② (提案内容の報告)	佐藤部会長 高木部会長	
分科会進行		
本日のまとめ・閉会		
記録	写真 録音 事務局	

# 平成21年度宮前区区民会議フォーラム座席配置図

スクリーン

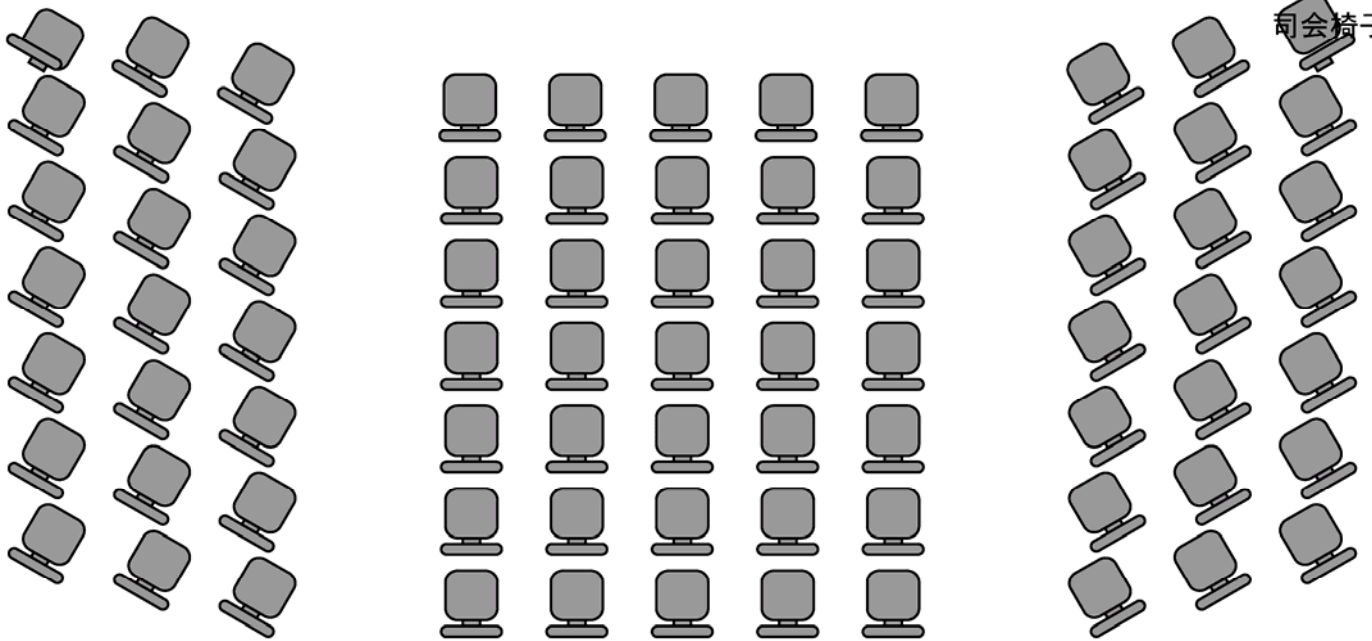
副委員長  
副委員長  
委員長  
公園・地域づくり部会長  
宮前区の宝さがし部会長

演台

プロジェクター

司会

司会椅子

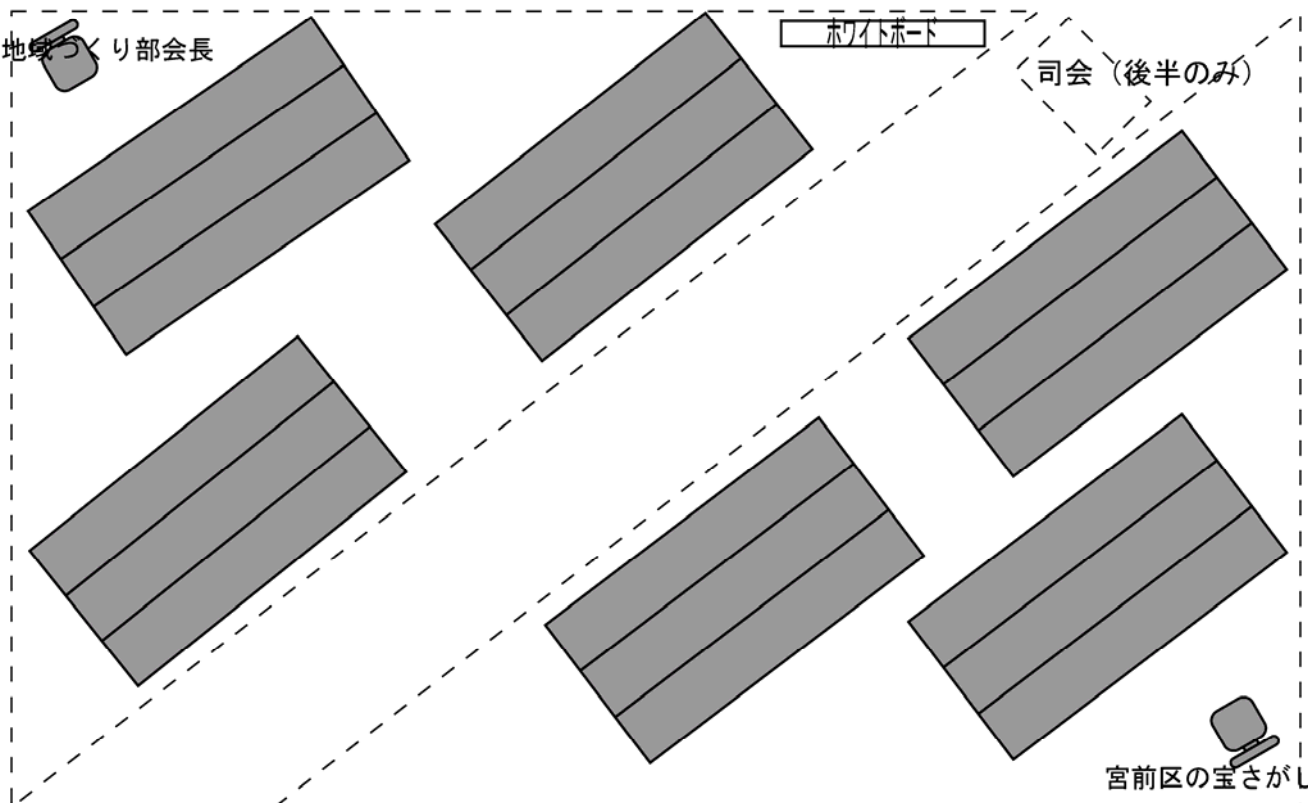


公園・地域づくり部会長

ホワイトボード

司会 (後半のみ)

宮前区の宝さがし部会長



第1期宮前区区民会議総括に向けた委員意見調査表

	良かった点	改善すべき点（2期への課題）
地域課題の把握方法		
審議対象課題（優先順位付け、分野、課題の規模、課題の数など）		
全体会の会議運営		

	良かった点	改善すべき点（2期への課題）
専門部会の会議運営		
地域や行政による、区民会議から提案された課題解決策の取組と進行管理		
その他（自由に）		